

The TENDAI journal

発行所：天台宗出版室
発行人：出版室長 寺本 亮洞
〒520-0113 大津市坂本 4-6-2
天台宗務庁内 電話：077-579-0022(代)
Eメール：T-Press@tendai.or.jp

平成30(2018)年9月1日 土曜日
(毎月1日発行) 1部50円(消費税込・送料別)

天台ジャーナル



比叡山宗教サミット31周年「世界平和祈りの集い」が8月4日、比叡山延暦寺の一隅を照らす会館前「祈りの広場」で開催された。仏教はじめ、神道、教派神道、キリスト教、新宗教、イスラームなど、国内外から約1000名が参加し諸宗教間の対話継続を誓い、世界の恒久平和の実現を祈った。(4・5面に関連記事)

比叡山宗教サミット 31周年

「世界平和祈りの集い」開催

—— 紛争の終結と世界平和の到来を祈る ——



天台宗では「世界平和祈りの集い」式典前に「天台宗世界平和祈願法要」を根本中堂で厳修。

根本中堂で世界平和祈願

多道雄宗務総長を導師に、世界平和と人類の和合が訪れるよう神仏に祈願した。(写真)「世界平和実現へ行動を」との宗内からの機運の高まりから、サミット27周年を迎えた平成26年から営んでおり、今回で4回目の法要厳修となる。(昨年は30周年記念開催のため中止)

杜多宗務総長は、災害被災地の早期復興と世界の平和と人類の安寧が訪れるよう祈った。

また副導師をつとめた小堀光實延暦寺執行が世界平和祈願の護摩を修した。

午後3時、杜多道雄宗務総長の開式の辞により式典が開始され、「第53回天台青少年比叡山の集い」に参加した青少年から平和実現の祈りを込めた折り鶴が奉納された。法要に続いて森川宏映座主殿下は平和祈願文を奉読。規範やモラルなど倫理の崩壊が著しいと指摘され、伝教大師が示された『忘己利他』、『一隅を照らす』精神を支柱とし、世界平和実現へ祈りを捧げる大切さを訴え、共に努力することを誓われた

続いて国内外の各教宗派の指導者らが登壇。平和の鐘が響く中、一日も早い紛争の終結と世界平和の到来を祈り、参加者全員で黙祷を捧げた。

またローマ教皇庁諸宗教対話評議会議長で7月に亡くなった故ジャン・ルイ・トー

ラン枢機卿と世界仏教徒連盟のバン・ワナメティール会長からのメッセージが披露され、宗教の垣根を越えた平和希求への祈りの呼びかけに会場からは拍手が贈られた。

そして未来を担う子ども達からは、立正佼成会の西田友希乃さんと、天台青少年比叡山の集い参加者の加藤良明さんがそれぞれ発言した。西田さんは、募金活動を通じた経験談を披露。生きとし生ける全ての命への感謝や思いやりを大切に、平和である世界や笑顔でいられる世の中になるよう、自ら行動することを宣言した。また加藤さんは、将来は積極的にボランティア活動をし、人を助ける職業に就きたいと述べ、世界を平和にするために行動することを誓った。

極微

かわせみと新幹線、蚊と注射針、やもりと接着テープ。双方にはちよつとした関係がある▼かわせみは、魚を捕るため水中に飛び込むが、水の抵抗力を減らすためにくちばしが鋭い四角錐の形になっている。それに似せて空気抵抗を少なくしたのが新幹線の先端部。蚊の針は表面がギザギザになっていて皮膚への接触面が減り、人間は刺されたことに気づきにくい。それを応用したのが痛くない注射針だ。また、やもりの足の裏には多くの繊毛があり、その効用で壁面やガラス面を難なく登ることができると。そこから発明されたのが、接着剤を用いない接着テープ▼こうした生物の身体構造や機能にヒントを得る技術を「バイオミメティクス(生物模倣)」というそうだ。他にも鮫や鱈、蝶などからの多くのバイオミメティクスの例がある▼考えると、生物模倣によるいろんなものが身の回りにある。この地球上の頂点に立ち「万物の霊長」と呼ばれながらも、このように我々は、多くの動物や植物から様々な恩恵を受けて暮らしている。その生き物たちにお返しをせねばならないのに、むしろ害をなすことが多くなっている▼今話題の海を汚している「マイクロプラスチック」問題以外にも温暖化など、人類が作り出した害が次から次へと起こっている。さて、この惑星を救う「惑星模倣」の技術はないものか。